

事業者向け放課後等デイサービス 自己評価表

事業所名：こどもの森（放課後等デイ）
 職員数：6 回収：6 公表：R

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|---|--|----|--------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。 | | 2 | 4 | 狭いと感じるが、活動場所を分けたりして工夫をしている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか。 | | 4 | 2 | 常時、常勤換算で3.0人以上の職員配置をしている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。 | 4 | 2 | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 2 | 1 | 3 | 取り組めていないため、時間を確保し行っていく。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。 | 4 | 2 | | 十分とは言えないため、情報共有をし取り組んでいく。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。 | 2 | 1 | 3 | HPにて公開している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 1 | 4 | 現在、第三者委員を選任し、行う方向である。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。 | | 2 | 4 | 十分ではないため、時間を確保し定期的に行う。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | 1 | | 子どもと保護者のニーズに沿い、サービス等利用計画と連動し個別支援計画を立てている。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。 | 2 | 3 | 1 | 定型化されたツールを使用している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 1 | 5 | | 個々で行っているため、今後は当番制にするなど、効率的な立案を行う。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 1 | 5 | | 工夫しきれていないと言えないため、案の集積を行い、工夫をしていく。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。 | | 6 | | 状況に合わせ、プログラムを立案し支援を行っている。個と集団での計画は出来ている。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 2 | 4 | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。 | 2 | 4 | | 打ち合わせは必ず欠かさず行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|---|
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 1 | | 行っている。送迎などで参加出来なかった職員に対しては、ノート等を活用し申し送りをしている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | 1 | | |
| | ⑱ | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。 | 3 | 3 | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 1 | 5 | | 十分とは言えないため、職員間で活動内容を再確認し、行う。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。 | 3 | 2 | 1 | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 2 | 4 | | 都度、確認をしている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。 | | 3 | 3 | 該当児なし |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 2 | 1 | ケース会議などを開催し、情報共有をしている。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | 1 | 5 | 該当児なし |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。 | | 3 | 3 | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。 | | | 6 | 現在はコロナ禍にて行っていない。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | | | 会議には出席している。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | 1 | | 送迎時や連絡帳、必要に応じて電話などで対応している。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。 | | 4 | 2 | 今後、養成研修に参加し、研修後に行う予定ではあるが、現在はコロナ禍で研修がない。 |
| 42 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | 4 | 2 | |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 1 | | 積極的に行っている。 |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。 | | | 6 | 今後、要望により検討していく。 |

| | | | | | | |
|---|----|---|---|---|---|---|
| 不 護 者 へ の 説 明 責 任 | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 2 | 4 | | 迅速に対応している。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 1 | 5 | | 定期的に、機関紙を発行している。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか。 | 5 | 1 | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | 児童に関してはマカトンサインなどを利用し、意思疎通を図るなど工夫をしている。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 1 | 5 | コロナ禍で行っていないが、コロナの状況が落ち着いたら積極的に行っていく予定。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。 | 2 | 3 | 1 | マニュアルは整備されているが、周知徹底が図れていないため、全員が把握できるようにする。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | | 1 | 5 | 未だ実施はしていないが、今後定期的に行っていく。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | | 3 | 3 | 十分ではないため、研修時に行う。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 1 | 5 | | 記載はあるが、対応に関する知識が十分ではないため、今後研修時に周知徹底を図る。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 2 | | アレルギーの有無の確認をし、把握している。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。 | 6 | | | |